

弱溶剤
タイプ

省エネ屋根用遮熱塗料

2液弱溶剤ウレタン樹脂屋根用遮熱塗料

パラサーモン

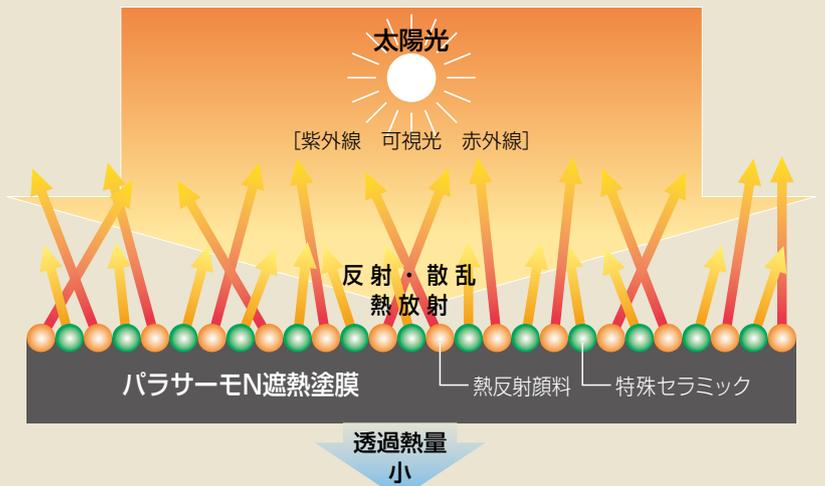
【改訂第2版】

室内の温度上昇を抑え、
省エネ・節電に貢献します。

COLOR SAMPLE

「パラサーモン」の遮熱メカニズム

- ①通常の塗膜では、太陽光スペクトルのうち、とくに熱作用の高い近赤外線を吸収するため温度上昇が大きいのにに対し、パラサーモンは配合された特殊熱反射顔料や特殊セラミックが、熱作用の高い近赤外線を効率よく反射・散乱し、太陽熱の吸収を防ぎます。
- ②パラサーモンでは、塗膜にいったん吸収された熱を特殊セラミックの働きにより熱放射します。
- ③これらの複合作用により、高い遮熱性能を実現しています。

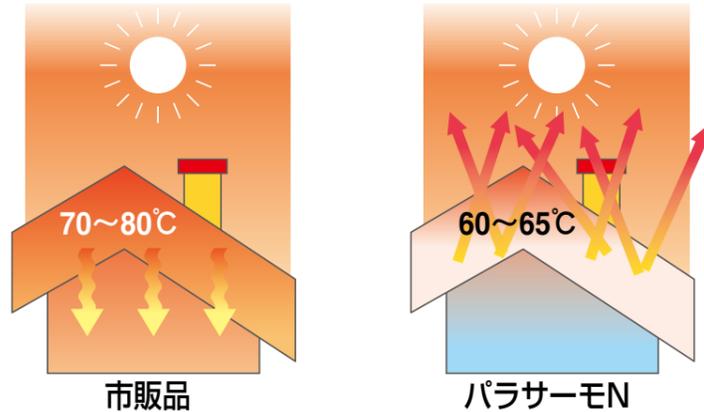


太陽光線を反射し、熱を遮る——。室内の温度を抑え、快適な環境を実現します。

「遮熱塗料のニットク」として、屋根用、外壁用、屋上防水用、路面舗装用、ガラス面用など、数多くの遮熱塗料を上市していますが、その第一弾として登場したのが、「省エネ屋根用遮熱塗料「パラサーモン」」です。すでに開発・上市して15年以上の実績があり、一般の住宅をはじめ、工場や倉庫などの屋根に数多く採用され、高い評価を受けています。

太陽光線を反射し、屋根の温度上昇を抑制します。

【当社遮熱照射試験によるパラサーモン・ブラックの結果】



■条件：外気温35℃ 夏の晴天時、午後12時30分の測定(屋根の色：ブラック)

特長

1 優れた遮熱性を発揮

太陽光に対する反射率の優れた着色顔料と、熱放射率に優れたセラミックを採用することで、抜群の遮熱性能を高めることを可能にしました。各種の屋根(鋼板屋根、トタン屋根、新生瓦、厚形スレート瓦など)に塗装することで、室内への熱の侵入を遮断し、室内温度の上昇を抑えることができます。エアコンなどの空調設備の省エネ効果に抜群の性能を発揮します。

標準色(常備色)

●この色見本は紙に塗装しておりますので、実際の仕上がりとは多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。



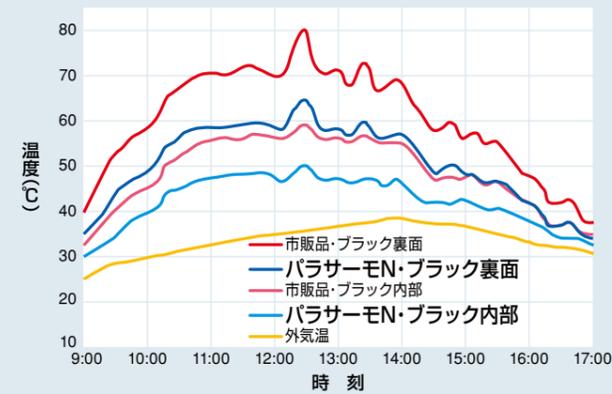
※印の標準色(3色)は割高(2~3割程度)になります。

●パラサーモンは特殊な顔料を使用しており、膜厚・塗布量や標準以上の希釈量では色目が少し変わります。ご注意ください。

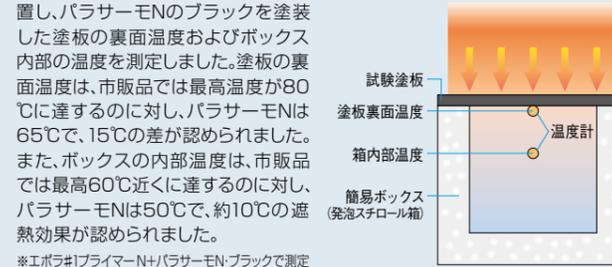
●色相によっては遮熱効果に差がでます。

●本色見本帳のPDF版をカラー出力された場合、この色見本帳に掲載しています標準色とは、著しく色の相違があります。PDF版のカラー出力やパソコンのモニターをご覧になってのご注文はお受けできません。標準色の指定、選定、ご注文は必ず現物の色見本帳をお願いします。

遮熱試験(屋外)



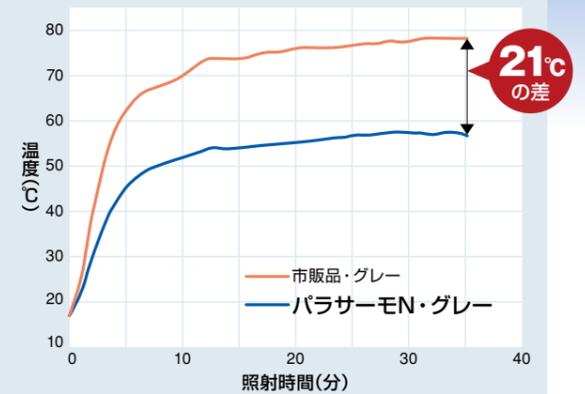
遮熱効果測定



●ご注意：基準色より既存塗膜が淡彩系の場合、遮熱(温度低減)効果が得られないケースもございますのでご注意ください。詳細は最寄りの営業所にご確認ください。

※エポラ#1プライマー-N+パラサーモン・ブラックで測定

照射試験(屋内)



グレーを塗装した塗板を室内でランプ照射し、裏面温度を測定しました。市販の通常塗料では35分後に最高温度が78℃に達するのに対し、パラサーモンは57℃で、21℃の差が認められました。パラサーモンは、市販品の通常塗料に比べて遮熱効果が高いといえます。

※エポラ#1プライマー-N+パラサーモン・グレーで測定



▲H社フィリピン工場

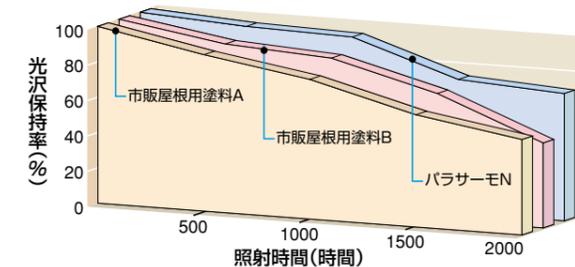
2 優れた塗膜性能

臭気などの環境問題に対応した実績のある「弱溶剤樹脂」がベースのため下地の影響を受けにくく、塗り替え適性に優れています。また、強靱なウレタン結合により、酸性雨や紫外線および熱劣化の耐性に優れるとともに、高い耐久性があります。

既存塗膜に対する上塗性

既存塗膜	パラサーモン	一般溶剤型塗料	水系塗料
エマルジョン塗料	●	×	●
油性ペイント	●	×	×
アクリル樹脂塗料	●	▲	●
ポリウレタン樹脂塗料	●	●	▲

キセノンウェザーメーター促進曝露試験



荷姿

※プライマーは下記のもの以外に、エポラ#1プライマー-N(グレー、赤サビ)、エポラ#2プライマー(赤サビ、白)が使用可能です。

- パラサーモン 16kgセット(A液:14kg,B液:2kg)
- // 8 kgセット(A液:7kg,B液:1kg)
- エポラマイルドプライマーS 28kgセット(A液:14kg,B液:14kg)
- // 14kgセット(A液:7kg,B液:7kg)
- エポラ#1遮熱プライマー(淡ブルー) 16kg
- エポラ#2遮熱プライマー(淡ブルー) 16kgセット(A液:14.4kg,B液:1.6kg)
- エポラ#3プライマー(赤サビ・白) 16.5kgセット(A液:15kg,B液:1.5kg)
- // (白) 1.1kgセット(A液:1kg,B液:0.1kg)
- エポラ浸透遮熱プライマー(淡グリーン) 16kgセット(A液:14kg,B液:2kg)
- エポラ塗替遮熱プライマー(淡ブルー) 16kgセット(A液:14.4kg,B液:1.6kg)
- エポラワイドプライマー グレー 16kgセット(A液:14.4kg,B液:1.6kg)
- // 4 kgセット(A液:3.6kg,B液:0.4kg)
- ウルトラルーフプライマー(グレー・ブラック) 15kg

標準塗装仕様



◀大和輸送(株)大宮倉庫[埼玉]

1 新生瓦、スレート屋根、厚形スレート瓦(既存塗膜がない場合)

工程	塗料の調合 (重量比)	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	●表面のごみ、ほこり、コケや既存塗膜の浮き、ハガレなどは、高圧水洗機やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。 ●水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。					
下塗り	●エポラ浸透遮熱プライマー A液 ……………14kg ● “ ” B液 ……………2kg ※A液、B液は缶をよく振ってからご使用ください。	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.15~0.3	53~106 m ² /セット	2時間以上 72時間以内
上塗り (1回目)	●パラサーモン A液 ……………14kg ● “ ” B液 ……………2kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	106~133 m ² /セット	2時間以上
上塗り (2回目)	●パラサーモン A液 ……………14kg ● “ ” B液 ……………2kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	106~133 m ² /セット	—

※「エポラ浸透遮熱プライマー」の他に「エポラマイルドプライマー-S」もご使用いただけます。

2 新生瓦、スレート屋根、厚形スレート瓦(既存塗膜がある場合)

工程	塗料の調合 (重量比)	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	●表面のごみ、ほこり、コケや既存塗膜の浮き、ハガレなどは、高圧水洗機やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。 ●水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。					
下塗り	●エポラ塗替遮熱プライマー A液 ……………14.4kg ● “ ” B液 ……………1.6kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.13~0.16	100~123 m ² /セット	12時間以上 72時間以内
上塗り (1回目)	●パラサーモン A液 ……………14kg ● “ ” B液 ……………2kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	106~133 m ² /セット	2時間以上
上塗り (2回目)	●パラサーモン A液 ……………14kg ● “ ” B液 ……………2kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	106~133 m ² /セット	—

※「エポラ塗替遮熱プライマー」の他に「エポラワイドプライマー グレー」「ウルトラーフプライマー」もご使用いただけます。

3 金属屋根の場合：折板屋根、瓦棒など

工程	塗料の調合 (重量比)	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	●フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜はケレン工具を用いて除去してください。 ●サビは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。 ●被塗面の表面のごみ、ほこり、油脂類はシンナーや高圧水洗機などで完全に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。					
補修塗り	●エポラ#2遮熱プライマー A液 ……………14.4kg ● “ ” B液 ……………1.6kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	適量		12時間以上 72時間以内
下塗り	●エポラ#2遮熱プライマー A液 ……………14.4kg ● “ ” B液 ……………1.6kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.13~0.16	100~123 m ² /セット	12時間以上 72時間以内
上塗り (1回目)	●パラサーモン A液 ……………14kg ● “ ” B液 ……………2kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	106~133 m ² /セット	2時間以上
上塗り (2回目)	●パラサーモン A液 ……………14kg ● “ ” B液 ……………2kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	106~133 m ² /セット	—

※補修塗り、下塗りには「エポラ#1遮熱プライマー」「エポラ#1プライマー-N」「エポラ#2プライマー」「エポラワイドプライマー グレー」もご使用いただけます。

※フッ素鋼板の場合は最寄りの当社営業所までお問い合わせください。



▲(株)サニカ[山梨]



▲鹿島工業[静岡]

4 非鉄金属屋根の場合：ガルバリウム鋼板など

工程	塗料の調合 (重量比)	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	●フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜はケレン工具を用いて除去してください。 ●サビは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。 ●被塗面の表面の塵、ホコリ、油脂類はシンナー除去や高圧水洗機などで完全に除去してください。					
補修塗り	●エポラ#3プライマー A液 ……………15kg ● “ ” B液 ……………1.5kg ●エポラ#3シンナー(ローラー、刷毛) ……………0~2kg ● “ ” (スプレー) ……………0~3kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	適量		6時間以上 72時間以内
下塗り	●エポラ#3プライマー A液 ……………15kg ● “ ” B液 ……………1.5kg ●エポラ#3シンナー(ローラー、刷毛) ……………0~2kg ● “ ” (スプレー) ……………0~3kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16	103~117 m ² /セット	6時間以上 72時間以内
上塗り (1回目)	●パラサーモン A液 ……………14kg ● “ ” B液 ……………2kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	106~133 m ² /セット	2時間以上
上塗り (2回目)	●パラサーモン A液 ……………14kg ● “ ” B液 ……………2kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……………0~1kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……………0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	106~133 m ² /セット	—

※ガルバリウム鋼板は素材自体が高い遮熱性をもっています。塗装する場合は明度の高い色を推奨します。

※フッ素鋼板の場合は最寄りの当社営業所までお問い合わせください。

施工上の注意事項

●素地調整について

- ①高圧水洗機やエアレススプレー塗装では、施工中のミスト飛散防止のため、十分に養生を行なってください。
- ②高圧水洗機で清掃ができない場合はホースで水を流しながらワイヤーブラシなどを用いてごみ、ほこり、コケ類を完全に除去してください。
- ③水洗い後は1日以上乾燥させてください。雨や露などで濡れている場合

- も十分に乾燥してから塗装してください。
- ④油分が付着している場合は溶剤拭きを行なってください。
- ⑤錆が発生している場合はワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去してください。

●塗料と塗装について

- ①仕様に書かれている数値は標準的なものであり、素地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより多少の幅が生じることがあります。
- ②屋根表面を水洗いした後や雨や露、霜で濡れているときは十分に乾燥させてから塗装してください。
- ③塗装後翌日までに降雨、降雪が予想される場合や気温が5℃以下、湿度80%以上での塗装は避けてください。未乾燥状態で水分の影響を受けると、艶引けなどの現象が発生し、塗膜性能が発揮されません。乾燥までの時間を考慮して作業を進めてください。
- ④夏季、炎天下でエアレスホース内に塗料を入れたまま放置しますと、つまりの原因となります。
- ⑤気温が5℃以上で塗装は可能としておりますが、気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔が変わります。
- ⑥塗料は必ず規定配合比で調合し、電動攪拌機などで十分に攪拌してから施工してください。規定配合比で混合されないと、本来の塗膜性能を発揮しない場合や、仕上がりが悪くなる場合があります。
- ⑦規定の塗布量が塗られていない場合、本来の塗膜性能を発揮しない場合がありますので規定量を守って塗装してください。
- ⑧他の塗料との混合は絶対に行なわないでください。
- ⑨塗料を小分けして使用する場合はA液を十分に攪拌して均一の状態にしてから分けてください。色ムラなどの要因となります。
- ⑩遮熱塗料は特殊な顔料を使用しています。このため、シンナーの希釈量や使用量が多すぎたり、少なすぎたりしますと、色相が変化して見えることがあります。また、遮熱性能が低下することもありますので、塗装仕様を厳守して施工してください。
- ⑪材料は直射日光を避け、雨露の当たらない冷暗所に保管してください。

- ⑫シーリング面への塗装は極力避けてください。塗膜の汚れやワレの要因となります。
- ⑬塗装方法が混在する場合、塗布量、表面肌が異なることで若干の色相差がでることがあります。
- ⑭塗料の希釈は塗料用シンナーAを使い、他のシンナーを使用しないでください。シンナーの種類によっては著しい粘度低下や、本来の色艶がない場合があります。また、過剰希釈しますと隠蔽不足、色艶の低下、外観不良などの要因となります。
- ⑮溶剤系の塗料およびシンナーは引火性がありますので、冷暗所に保存し、取り扱いの際は火気に充分ご注意ください。また、衛生上、塗装の際に有機溶剤の蒸気を吸わないようにご注意ください。
- ⑯各仕様で硬化が不十分な場合に塗装しますとリフティング(塗膜のちぢれ)を起こす場合があります。
- ⑰瓦棒や波形トタン屋根などの塗装で山の部分や折り曲げ部分などは塗料がつきにくいので、先に拾い塗りをするなどして全体に均一な膜厚になるよう注意してください。
- ⑱屋根材の重なり部分に塗料がたまとると漏水などの原因になりますので、必ず縁切りを行なってください。瓦の上下にすき間がないと通気が不十分になり、結露水などの影響により、漏水や素材の腐食、塗膜剥離、フクレなどの不具合が発生する場合があります。皮スキやカッターなどで縁切りを行なってください。
- ⑲使用後は塗装器具メーカーの指示に従い、適切な洗浄および保管をしてください。
- ⑳いずれの塗料も粘土瓦への施工はできません。また、モニエル瓦、スカンジヤ瓦などの乾式瓦は専用プライマーをご使用ください。

用途

- 工場、倉庫などのスレート、トタン、鋼板屋根
- 体育館の屋根
- 戸建ての一般住宅屋根(新生瓦、厚形スレート瓦など)
- その他、仮設住宅、プラント、畜舎、車庫などの屋根

試験成績

●スレート板にエポラマイルドプライマーS+パラサーモンN(2回塗り)を塗装し、それぞれの試験を行いました。

試験項目	試験方法	試験結果
乾燥性	指触乾燥 20℃ 65%RH	20分
	半硬化 //	40分
光沢	60°鏡面反射率 ガラス板上	80以上
鉛筆硬度	JIS K 5600 鉛筆硬度	F~H
初期付着性	碁盤目テープ試験 5mm角25マス	25/25
耐水性	水道水 7日間浸漬	異常なし
	水道水 7日間浸漬後 碁盤目テープ試験 5mm角25マス	25/25
耐温水性	60℃温水 7日間浸漬	異常なし
	60℃温水 7日間浸漬後 碁盤目テープ試験 5mm角25マス	25/25
寒熱サイクルテスト	水中浸漬×16時間→-20℃×4時間→80℃×4時間で80サイクル	異常なし
凍結融解性	自社試験法/水中浸漬にて試験 -20℃×4時間→20℃×4時間で100サイクル	異常なし
促進耐候性	キセノンウェザーメーター 2000時間	異常なし

「パラサーモンN」取り扱い上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。
*本記載の仕様は標準仕様です。塗装環境や塗装条件により、施工間隔などは変化します。

[その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください]

◎日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 | ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323 |
| 平塚営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長静1-10 | ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739 |
| 名古屋営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12 | ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124 |
| 大阪営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-28-10 | ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560 |
| 広島営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 | ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256 |
| 福岡営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 | ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762 |

■代理店

●日本特殊塗料ホームページ <http://www.nttoryo.co.jp/>